

2019年度海外客員研究員共同研究活動報告書

2019年6月16日

海外客員研究員：プレム・モトワニ(ジャワハルラル・ネール大学 教授)
受入教員：今田 秀作(本学経済学部教授)

1. 研究員紹介

ジャワハルラル・ネール大学（インド）日本研究科教授。博士（日本学）
インドにおける日本学の第一人者であるとともに、日本的経営について造詣が深く、
日本・インド両国から高い評価を受けてこられた。2015年にはインドにおける日本研
究推進の功績により日本政府から外務大臣表彰を授与され、また2010年10月のイン
ド・シン首相来日の際には通訳を務められた。日頃日本企業のインド進出における相
談役としても活躍されている。日本語による著書として、『早わかりインドビジネ
ス』2008、日刊工業新聞社、『ニューインド最前線』1998、時事通信社などがある。

2. 滞在中において行った研究内容・調査活動の概要

まず各地にある主要企業の工場を訪問し、工場長や企画部との面談を通じて生産過程や
製品管理の特徴を詳細に調査した。訪れた工場は以下の通りである。①サカタインクス
（印刷）滋賀工場、②マツダ（自動車）広島本社工場、③パナソニック（家電）滋賀工
場、④セキソー（自動車部品）岡崎工場。また日本における製造業技術に関する代表的
な調査・助言機関を訪ね、日本の生産技術の現状についての理解を深めるとともに、そ
れらの調査部門が所蔵する2001年以降の優秀技術論文集を網羅的にファイルの形態で
蒐集した。訪ねた機関は次の通りである。①公益社団法人日本プラントメンテナンス協
会（JIPM、TPM賞の審査授与機関）、②一般財団法人日本科学技術連盟（UJSE、デミ
ング賞の審査授与機関）。さらに本学部の研究推進オフィス主催の下で「日本型経営の
インド展開とその課題」と題する講演を行い、参加者との間で日本型経営を巡って有意
義な討論を行った。また本学部の「インド経済研究ユニット」のメンバーと情報交換を
行い、ユニットの共同研究の進展に貢献した。

3. 研究成果

各地の工場調査により、日本の製造業における生産過程や製品管理の実態について、最
新の情報を集めることができ、また二つの調査機関において重要な文献資料を網羅的に
蒐集できた。今回の調査及び資料収集から得られた知見は、現在執筆を進めている単著
の完成に大きく貢献するであろう。

4. 展望など

今回の和歌山大学滞在で得た知見を単著の完成に生かすとともに、今後和歌山大学との
研究交流をさらに進めていきたい。